

菅野純先生 オンライン講演会のご案内
「毒性学からみた放射線の人体影響」

東京電力福島第一原発事故から約13年が経過しましたが、政府は、被ばくによる住民の健康被害はなかったものと決めつけ、メディアが被ばく問題を取り上げることもほとんどなくなりました。日本の社会は、被ばく問題に目を向けることをあえて避けているようです。しかし、今なお、数万人の被災者が被ばくを避けるために避難を続けており、多くの被災者が裁判を闘っています。小児甲状腺がんに罹患した若者も裁判を闘っています。被ばくによる健康影響の問題を、私たち市民自らが学ぶ必要があります。

ところで、放射性物質は、公害物質であり、毒物です。私たちが、被ばくによる健康被害を考えるときに、「毒性学」という新たな視点から考えることは、貴重な学びになります。この度、日本の著名な毒性学者である菅野純先生から、毒性学からみた被ばく問題についてご講演をいただける運びになりました。是非、多くの市民の皆さんが、ご参加いただきたいと思えます。このご講演は、被ばくによる健康被害の問題について、私たちに新しい視座を与えていただけるものと確信します。なおご講演は「非公開」になる予定です。

2024年1月

子ども脱被ばく裁判の会

■ オンライン講演会のご案内 ■

日時：2024年2月11日（日）19：00～21：00

演題：「毒性学からみた放射線の人体影響」

講師：菅野 純先生

Zoom 申し込み先：kodomo2015-info@oregano.ocn.ne.jp

件名は「講演会申し込み」とし、ご自身のお名前と Zoom 画面上のお名前をお知らせください。

Zoom・URL は2月10日（土）までにお知らせします。

もし届かない時には Zoom 申し込みアドレスにお問い合わせください。

申し込み〆切：2月9日（金）

参加費：無料

主催：子ども脱被ばく裁判の会

協力：富山大学科学コミュニケーション研究室

■ 菅野純先生のプロフィール

1981年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業

1985年 東京医科歯科大学大学院医学研究科博士課程修了

- 1985年 国立衛生試験所病理部リサーチレジデント（(財)がん研究振興財団
- 1986年 東京医科歯科大学医学部病理学第二講座助手
- 1991年 アメリカ国立衛生研究所客員研究員
- 1993年 東京医科歯科大学医学部感染免疫病理学講座助手
- 1995年 東京医科歯科大学医学部感染免疫病理学講座講師
- 1997年 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部室長
- 2002年 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部長
- 2004年 独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員
- 2011年 厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員 環境省中央環境審議会環境保健部会臨時委員
- 2012年 日本毒性学会理事長
- 2016年 独立行政法人労働者健康安全機構日本バイオアッセイ研究センター所長
- 2016年 国立医薬品食品衛生研究所 名誉所員
- 2016年 国際毒性学連盟 (IUTOX) 会長
- 2020年 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部客員研究員
- 2020年 日本毒性学会理事長
- 2021年 公益財団法人 日産厚生会 玉川病院 病理診断科 部長
- 2021年 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部客員研究員